

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社ふくし・ファーム

②事業者情報

名称：	ういず川口東口保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	村川 悌子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒 332-0017 埼玉県川口市栄町3-11-17クレール川口プラザ1F Tel 048-446-7384		

③評価実施期間

令和6年7月1日（契約日）～令和7年3月31日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

系列園の中に合って本園独自の特徴として、以前より幼児クラスで異年齢合同縦割り保育を導入し、フロアを横断的に活用してコーナーを充実させています。あわせて、生活のルールについて話し合う「子ども会議」を日常に溶け込ませています。そのような環境において、学びのプログラムを充実させています。具体例として、「体育指導」「イングリッシュ」を、それぞれ専任の指導者を招いて実施しています。また、系列園と合同で開催するサッカー大会「あすなろ杯」に参加し、勝つことの喜びや負けることの悔しさを経験しています。なお、本園ではプロサッカーチームとの交流も経験しています。そして、乳児期から知育に取り組むとともに、子どもの非認知能力を一層高めるべく、4・5歳児クラスでは今年度よりプレイフルタイムを導入しました。「曼荼羅塗り絵・シュレッター・せっけん削り・電源タップの組み立て・色水合わせ・組み紐」など身近な素材を用いて、個々に集中しやり遂げることを支援しています。

子どもたちの食への関心を高めるため、日常的に多様な食育活動に取り組んでいます。ピーマン・小松菜・サニーレタスなどの野菜をプランターや水耕栽培キットで育て、収穫後は給食に取り入れることで、食材の成り立ちや栄養への理解を深めています。さらに、給食リクエストアンケートを通じて子どもたちの興味を把握し、献立づくりにも反映しています。調理体験は2歳児から始まり、ラップおにぎりや野菜の皮むきなどを経験し、5歳児になると米研ぎや炊飯、餅つき、バイキングなどに取り組んでいます。また、「ハロウィンクッキー」や「クリスマスのデコレーション」「五平餅」など季節に応じた調理保育も実施し、スーパーでの買い物や子ども用包丁の使用体験を通じて、実生活に近い形で食とふれあう機会を大切にしています。

JRターミナル駅前の活気ある商業地区に位置しています。そのため、園庭はありませんが、積極的に（週4回程度）散歩に出かけています。周辺には豊富に公園があり、荒川土手・神社・緑地など様々な環境にふれています。園のリーフレットでも一面を使って散歩マップを掲載し、在園児保護者および利用希望者にアピールしています。利用者調査の結果においても、戸外活動や遊びを通じた健康づくりなどの関連項目で90%前後の肯定的な回答を得ており、総合満足度でも最高評価の「満足」が93.9%と高い評価を得ています。

「仲良く・楽しく・元気よく」をモットーに職員にとって働きやすい職場づくりに努めています。職員の意識や満足度は、自己評価シートや職員アンケートを通じて把握するとともに、福利厚生の実施や年間休日の確保に努めることで、働きがいと意欲の向上を目指しています。また、今年度からメンター・メンティ制度を導入し、指導係とは別にメンターを配置することで、サポート体制を強化し、離職防止につなげています。さらに、感染症の影響で実施できなかった職員運動会を再開するなど、良好な人間関係の構築にも取り組んでいます。

◇特にコメントを要する点

本園の立地する川口駅前には、新しくタワーマンションが建つなど人口流入があり、保育園も増加したため、今後園児の確保が難しくなる可能性を捉えています。また、地域の特徴として「外国人が多い」ことが挙げられ、外国籍の園児も多く在籍しています。そのため、特に保護者への支援、コミュニケーションを手厚くする必要があり、通訳アプリを活用するなど工夫しています。このような地域性を踏まえつつ、利用者の獲得につなげていく取り組みが必要となっています。なお、子育て支援の取り組みは育児相談のみとなっていますが、園の持つ専門性を地域に還元する仕組みそのものがアピールの手段になると思われます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

園で実施していることに対して、第三者評価を受審したことによって、本当にフラットな目線で評価していただき、園の良い点や課題が見える貴重な機会となりました。また、利用者・職員の意向や要望も確認することができました。評価結果を参考にして、今後の運営に活かしていきたいと考えています。ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり